歌浦っ子だより（学校だより）

「やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成」

平成２９年　９月１４日　　文責：校長　内野義和

教職員の研修について

この学校だよりでは、子供たちの学びや頑張りを中心に書いていますが、今回は先生方の学びをご紹介します。

潮音院での研修

夏休みの最終日、８月３１日（木）９時から１時間、教職員全員で潮音院を訪れ、研修を受けました。その目的は、教職員自らが心を落ち着かせることを学び、９月からの子供たちの指導に生かすということでした。まず、座禅の仕方を学びました。実際に座禅をして１０分ほど瞑想しました。心を落ち着かせる方法を学びました。次に、住職の石田光洋様から、いろいろなお話をしていただきました。特に「子供の心を育てるお話」は今の子供たちにとても大切なことで、早速９月からの指導に生かすことができました。最後に潮音院の歴史などを伺うこともでき、有意義な時間を過ごすことができました。石田光洋様、本当にありがとうございました。

外国語活動の研修

潮音院から帰り、とてもすがすがしい気分の中で、午後からの研修を受けました。長崎県立大学の教授、山崎祐一先生に来ていただき、これからすぐ授業で使える英語をということで研修をしていただきました。発音を中心に学びました。先生の説明と実際の発音のあとに続けて発音することで、発音の仕方がよくわかりました。発音に自信をもつことができれば、自信をもって外国語活動に取り組むことができます。新聞やニュースでご存じかと思いますが、来年度以降は外国語活動が次のようになります。

＜平成３０・３１年度＞
３年生・４年生は外国語活動を年間１５時間する。
５年生・６年生は外国語活動を年間５０時間する。
＜平成３２年度以降＞
３年生・４年生は外国語活動を年間３５時間する。
５年生・６年生は英語科という教科になり、年間７０時間する。

本校では３年生・４年生は以前から外国語活動を年間１５時間していましたので、変わりはありませんが、５年生・６年生は年間３５時間していた外国語活動が１５時間増えます。増えた時間をどこでとるかは現在検討中です。また、平成３２年度以降はさらに、３年生・４年生・５年生・６年生で２０時間増えます。これまた増えた時間をどこでとるかは考えていかなければなりません。国・県・市の動向も見ながら、検討していきたいと思っています。

いずれにしてもこれからは３年生以上の先生は外国語活動に取り組まなければなりませんので、研修が必要となってきます。その点、本校はありがたいです。ご存じのように山崎先生は本校の学校評議員さんでもいらっしゃいますので、「呼んでいただければ、いつでも研修に来ます」と言っていただいています。これからも継続的に研修をしていきます。

外部講師を招いての研修

元校長先生で、現在全国を飛び回って、授業をしていらっしゃる鏑木良夫先生を９月８日（金）東京からお呼びし、６年生で国語の授業をしていただきました。教材は「海の命」です。国語の指導、物語の指導で何をどう教えればよいかをしっかり学びたいということで研修を設定しました。授業を見たり、その後の鏑木先生のお話を聞いたりして学びました。前校長の堀ノ内先生も、校長として勤めていらっしゃる学校の若い先生と一緒に長崎から来られました。また、長崎市内の別の学校の若い先生も来られました。さらに鹿町小からも井上校長先生をはじめ２名の先生も来られました。教えるためにはまずしっかり教師自身の読みをもつこと、主人公の気持ちを問うのではなく、それは教えて、その先を考えさせることなどたくさんのことを学びました。また鏑木先生から、国語の授業をする前の４時間目に「しつけの授業」ということで、子供たちへ学習の規律や学習の準備の仕方などを教えていただきました。先生方もついついおろそかになることで、改めてきちんと指導していこうということになりました。本当に実りの多い研修となりました。１月の中旬に再度来ていただき、国語の説明文の授業についても学ぶ予定です。

<u>学ぶ教師こそ、真に子供へ教えることができます。</u>学ばない教師から指導を受ける子供はかわいそうです。そういう意味では本校の先生方は身びいきかもしれませんが、すばらしいと思います。今後も子供たちのために一丸となって学び、指導していきます。